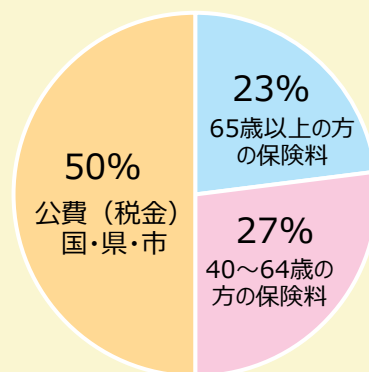


第8期の介護保険料

介護保険制度は、高齢者の暮らしを社会全体で支えていく仕組みであり、その財源となる介護保険の費用は、65歳以上の方が納める介護保険料だけでなく、国・県・市による公費（税金）と40～64歳の方が納める保険料からまかなわれています。



2021年度（令和3年度）からの負担割合（前期計画と同様です）



所得段階	所得区分	保険料率	保険料年額（月額）
第1段階	生活保護受給者の方	基準額 ×0.30	21,240円 (1,770円)
	市民税非課税世帯全員が		
第2段階	前年の課税年金収入額と合計所得金額（公的年金所得を除く）の合計が80万円以下の方	基準額 ×0.50	35,400円 (2,950円)
	前年の課税年金収入額と合計所得金額（公的年金所得を除く）の合計が80万円超120万円以下の方		
第3段階	前年の課税年金収入額と合計所得金額（公的年金所得を除く）の合計が120万円超の方	基準額 ×0.70	49,560円 (4,130円)
	前年の課税年金収入額と合計所得金額（公的年金所得を除く）の合計が80万円以下の方		
第4段階	前年の課税年金収入額と合計所得金額（公的年金所得を除く）の合計額が80万円以下の方	基準額 ×0.90	63,720円 (5,310円)
	前年の課税年金収入額と合計所得金額（公的年金所得を除く）の合計額が80万円超の方		
第5段階	前年の課税年金収入額と合計所得金額（公的年金所得を除く）の合計額が80万円以下の方	基準額 ×1.00	70,800円 (5,900円)
	前年の課税年金収入額と合計所得金額（公的年金所得を除く）の合計額が80万円超の方		
第6段階	前年の合計所得金額が120万円未満の方	基準額 ×1.20	84,960円 (7,080円)
	前年の合計所得金額が120万円以上210万円未満の方		
第7段階	前年の合計所得金額が120万円以上210万円未満の方	基準額 ×1.30	92,040円 (7,670円)
	前年の合計所得金額が210万円以上320万円未満の方		
第8段階	前年の合計所得金額が210万円以上320万円未満の方	基準額 ×1.50	106,200円 (8,850円)
	前年の合計所得金額が320万円以上400万円未満の方		
第9段階	前年の合計所得金額が320万円以上400万円未満の方	基準額 ×1.70	120,360円 (10,030円)
	前年の合計所得金額が400万円以上500万円未満の方		
第10段階	前年の合計所得金額が400万円以上500万円未満の方	基準額 ×1.75	123,900円 (10,325円)
	前年の合計所得金額が500万円以上の方		
第11段階	前年の合計所得金額が500万円以上の方	基準額 ×1.93	136,644円 (11,387円)

Point

介護保険料は、2021年度（令和3年度）から2023年度（令和5年度）までの3年間の給付費の見込から算定され、今期3年間の第1号被保険者の基準月額額は5,900円となります。



高齢者いきいきプラン 概要版

令和3年3月発行

編集・発行／南アルプス市保健福祉部介護福祉課

〒400-0395 山梨県南アルプス市小笠原376

電話／055-282-7347

2021年度
（令和3年度）

2023年度
（令和5年度）

高齢者いきいきプラン

概要版

第7期高齢者保健福祉計画・第1期成年後見制度利用促進計画・第8期介護保険事業計画

高齢者いきいきプランとは

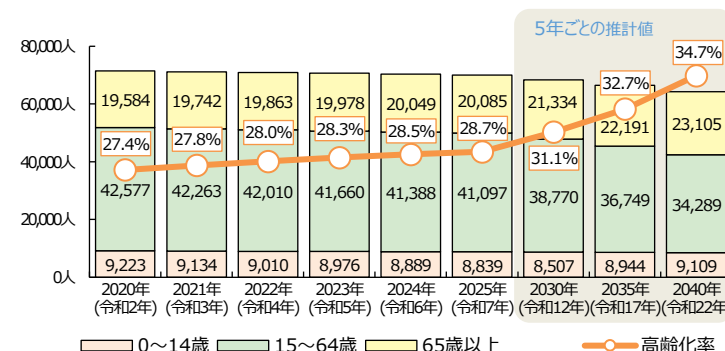
4人に1人が高齢者の本市において、今後さらなる高齢化は避けて通れません。本市において高齢者が安心して暮らしていくための仕組みである「南アルプス市地域包括ケアシステム」の推進が必要です。

団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年（令和7年）に「こんな南アルプス市であってほしい」といったビジョンを描きつつ、ビジョン実現に向け2021年度（令和3年度）から3年間の計画期間とする『高齢者いきいきプラン（第7期高齢者保健福祉計画・第1期成年後見制度利用促進計画・第8期介護保険事業計画）』を策定しました。

高齢者を取り巻く本市の状況

本市の人口推計をみると、総人口は年々減少していきなかで、高齢者の人口は増え続けていきます。高齢化率の上昇に伴い、認知症の高齢者やひとり暮らしの高齢者の数も増え続けることが見込まれています。

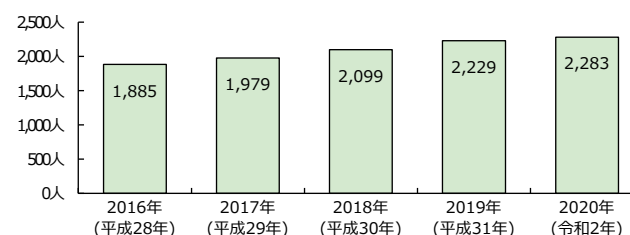
● 南アルプス市の人口と高齢化率の推計



Point

10年後の2030年（令和12年）には
市の人口は7万人を下回り、
65歳以上の高齢者が、
市の全体人口の3割を占める

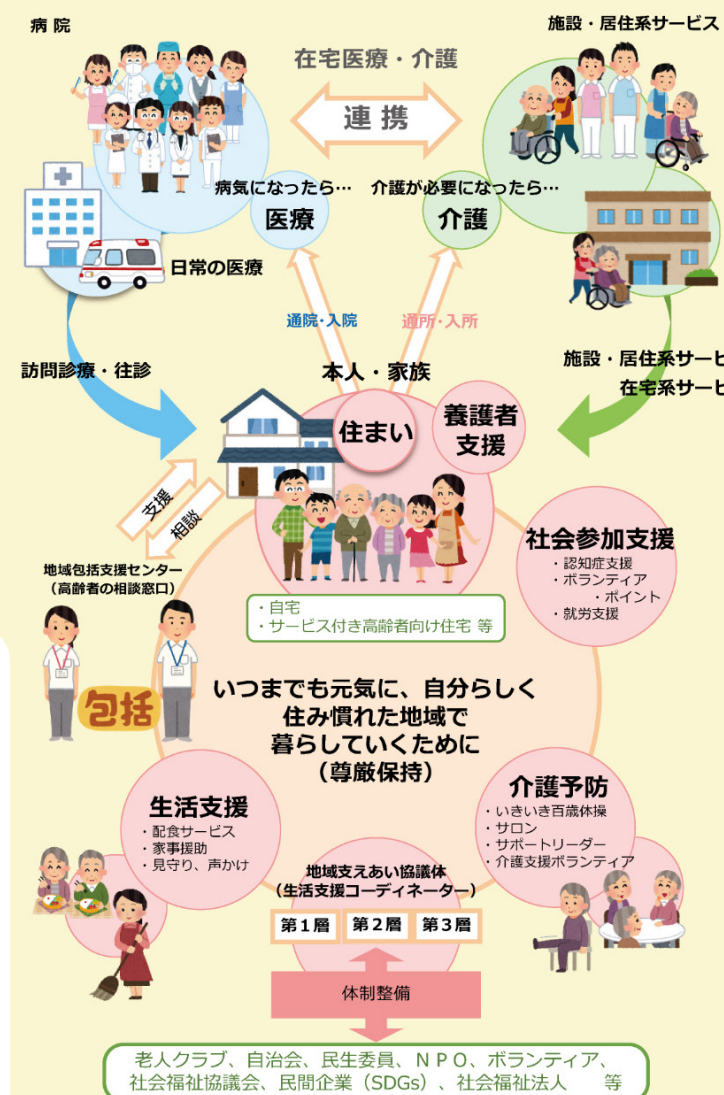
● 南アルプス市における認知症高齢者の状況



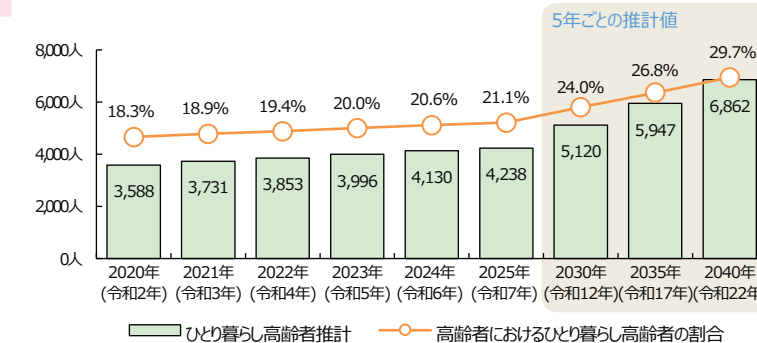
Point

高齢者のうち、認知症の患者は
年々増加している

「南アルプス市地域包括ケアシステム」イメージ



● 南アルプス市におけるひとり暮らし高齢者の推計



Point

2023年（令和5年）には高齢者のうち、
5人に1人以上がひとり暮らし

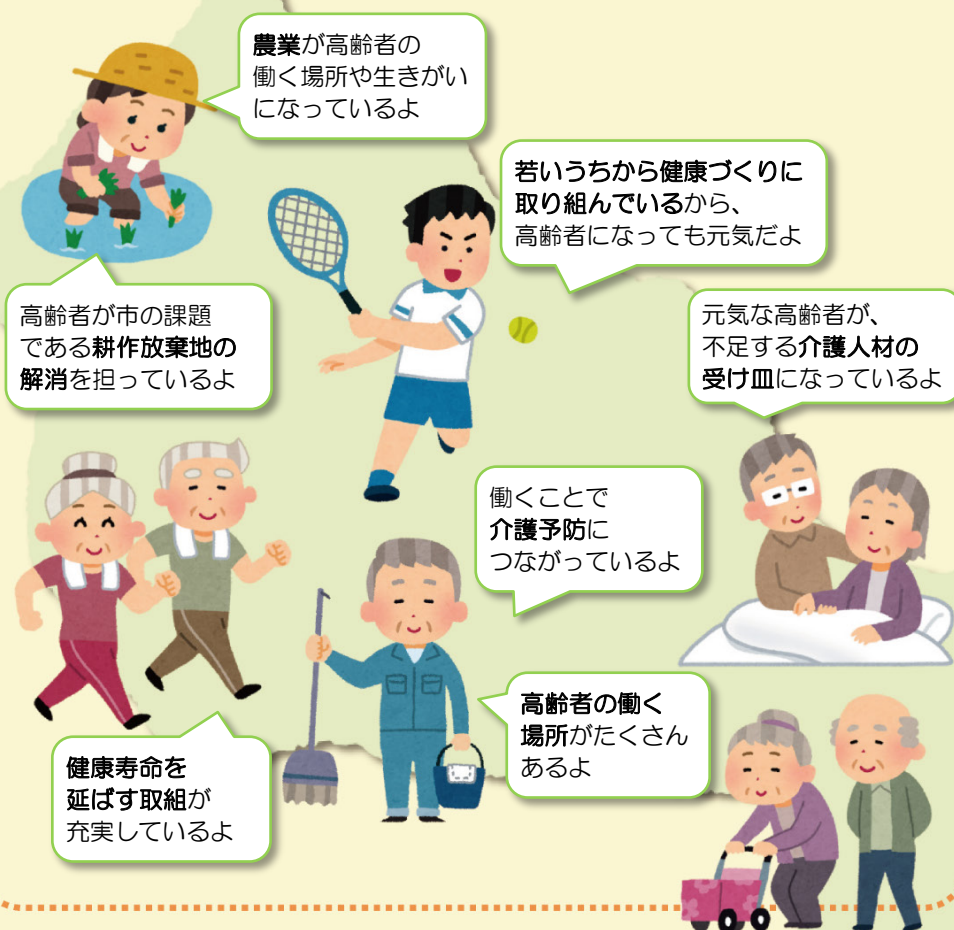
年齢を重ねても その人らしく活躍ができ 支えあいのなかで安心して暮らすことができるまち ～ 地域包括ケアシステムの深化・推進 ～

Point

超高齢社会と言われる2025年（令和7年）に『南アルプス市がどんなまちであったら良いか』ビジョンを描き、基本理念としました。

2025年（令和7年）における南アルプス市のあるべき姿

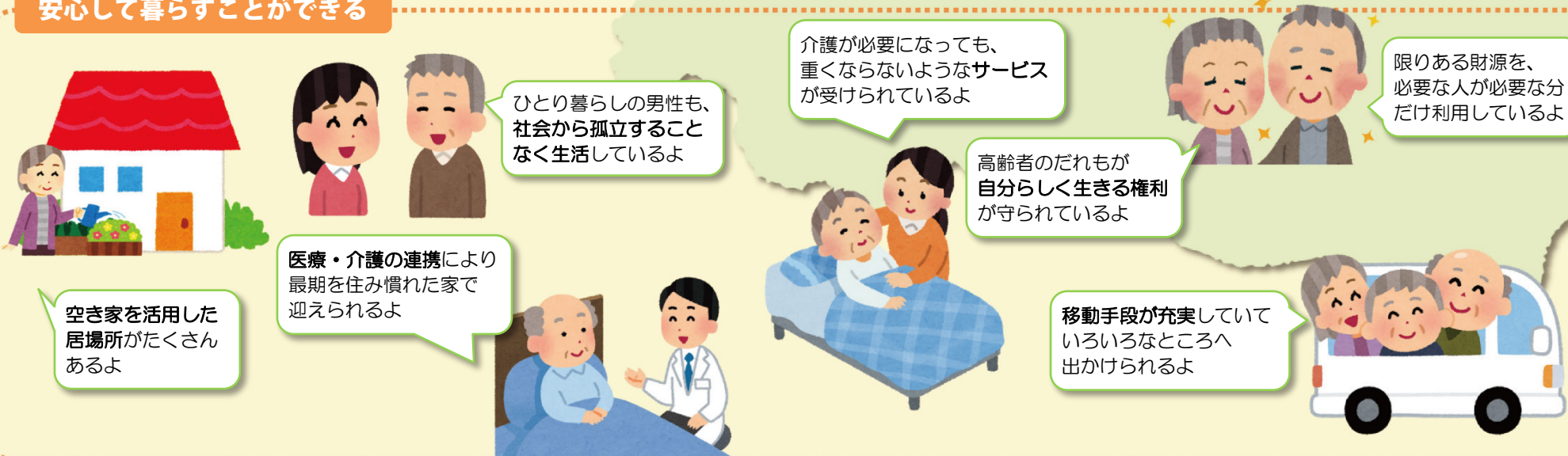
その人らしく活躍ができる



支えあいのなかで…



安心して暮らすことができる



重点目標

基本理念を実現させるため、本計画に4つの重点目標を設定し、重点的に取組を行っていきます。

重点目標 1 生きがいと健康を支える介護予防の総合的な推進

- (1) 生きがいづくりと社会参加の促進
- (2) 介護予防の総合的な推進
- (3) 健康づくり



重点目標 2 住み慣れた地域で安心して生活できる支援体制の充実

- (1) 地域包括支援センターの機能強化
- (2) 地域における支えあい活動の推進
- (3) 地域での生活の自立支援（高齢者福祉事業）
- (4) 医療と介護の連携の推進
- (5) 災害時における支援体制の充実
- (6) 感染症対策の充実



重点目標 3 認知症施策の推進

- (1) 認知症に対する地域の正しい理解と見守りの推進
- (2) 初期からの相談、医療・介護等の支援体制の構築
- (3) 本人支援や家族支援の充実



重点目標 4 高齢者の権利擁護の推進

- (1) 高齢者の尊厳保持と虐待の防止
- (2) 高齢者の消費者被害の防止
- (3) 成年後見制度利用促進計画

